

保護者の皆様



賢明幼第18-119
2018年10月30日
賢明学院幼稚園
園長 中原 道夫

今月の聖句

大きいことに忠実であろうと思えば、小さいことに忠実でありなさい。

(マリー・リヴィエ)

今月の言葉 (創立者の言葉より)

創立者が、修道女たちと生徒にしばしば口にしていた言葉に次のような言葉があります。

「大きいことに忠実であろうと思えば、小さいことに忠実でありなさい。」

創立者：Marie Rivier (マリー・リヴィエ)

この言葉は、福音書ルカ16章10～11節を私たちに、わかりやすく諭すために言われたのでしよう。ここで教えてくださっている「忠実」とは人柄のことです。何に対しても怠けずおろそかにしない人が、大きいことに対しても良い働きができるという意味です。小さいことをいい加減にする人は、大きいことを任されても小さいことで失敗することが多いという創立者の教えです。忠実な人は、小さいことにも大きなことにも心を込めて最善を尽くして取り組みます。私たちは絶えずこの言葉を思い出し、日々の生活をおくりたいと決意しましょう。



読み聞かせ

園長 中原 道夫

暑かった夏も過ぎ去り、肌寒さを感じる頃になりました。この季節に一般的になった「読書週間」があります。運動の秋・食欲の秋とも言われますが、今回は読書について考えてみましょう。読書週間は、毎年10月27日から11月9日までの2週間実施されます。この週間の始まりは、1924年(大正13年)です。この週間の由来の一つに、夏目漱石の小説『三四郎』の中で、「**そのうち与次郎の尻が次第に落ち付いて来て、燈火親しむべしなどという漢語さえ借用して嬉しがるようになった。**」とあるからという説があります。週間の言葉の由来はさておき、折角の読書週間ですから私たちもこの週間に【読み聞かせ】をもう一度見直してみましょう。

「読書する子は伸びる」と言われますから、本が好きになってもらいたいと思うのは当然です。多くの親が願うことです。本をよく読む子は、語彙が増える、読解力、思考力、表現力が身に着き、探究心も育つと、言われています。人の心の動きがわかるようになり、それが思いやりの気持ちにもつながります。読書は、コミュニケーション力の向上にも役立つと言われています。このような効用を知ると、何としてもわが子を、読書好きにしたいと思うのは親心として当然です。

【本の読み聞かせと本の選び方】

- ・保護者が好きな本や、保護者が子どもに読ませたい本ばかりを優先しないことが大切。
- ・大人が読ませたい本と、子どもが読みたい本は違うことが多い。

聞いている子どもの興味関心に合っていないと、読み聞かせは、子どもにとって苦痛の時間となりかねません。続けられない限り、よく読書する子には育ちません。興味のない本を読ませられたり、聞かせられたりしていることが度重なると、本が嫌いになってしまう可能性があります。子ども本人が「面白い。楽しい。」と感じる本を優先しましょう。子どもが喜ぶ本と、大人が感動する本は違うものです。読ませたい本と子どもの興味ある本が、違っているほうが一般的です。

【どんな本が良いのか】

読み聞かせの本は「物語の本」と思いこんでいないでしょうか。あるいは、文字の多いものと錯覚していないでしょうか。物語よりも自動車や飛行機の本・動物や昆虫の本・図鑑などが好きな子どもも多いものです。子どもの希望と好みに合わせることも、本選びの大切な条件です。

【読み聞かせの方法】

抱っこしながら、一緒に本を見る方法と、向かい合わせで子どもの読める方向に本を置いて、保護者が逆から本を見て、読んであげる方法があります。いずれも、子どもの表情をよく見ながら読むことが大切です。表情から、理解度や関心度がわかり、それに合わせて読み進めることができます。読み方が速すぎる場合はゆっくり読むスピードにかえることもできます。難しい言葉や理解しにくい場面などで、その場面をもう一度読んだり、言葉を補うことも表情を見ていれば出来ることです。場面について、子どもとおしゃべりすることも大切です。読んでいる途中で、子どもから話しかけてきたり質問してきた場合は、いったん読むのを止めて、答えてください。今知りたいという知識の欲求を大切にしましょう。「ちゃんと聞きなさい」「あとで」「読み終わってから」などは、禁句です。

同じ本を何度読んでもかまいません。読み手が変わっても構いません。読み手によって、雰囲気が変わることも大切です。

【してはいけない事】

- ・理解度を確かめる質問やテストのような質問をしない。
- ・話の筋を聞かない。

楽しいはずの時間が試されるための時間になってしまうのは、好きになれないものです。大人が本を読み終えた時と同じです。読書後の余韻が大切といえます。

記憶を試したり、感想を求めたりすることも適切ではありません。読み終わったら、読み手が先に感想を述べると、子どもたちも自分の感想を言い出します。あるいは疑問を聞きます。この時間が大切です。この時間に心が育ちます。

読書の秋、読み聞かせを始めてみませんか。

11月のねらい

- 自分の気持ちや考えを出し合いながら友だちと過ごす。
- いろいろな人の働きを心にとめる。
- 秋の実りやたくさんの恵みを喜び、感謝する。

月の目標

- 満3
- 戸外遊びを十分に行い、体を動かす心地よさを感じる。
 - マリア様やイエス様のことを知る。
- 年少
- 木の実や木の葉に触れ、神さまからの恵みに感謝する。
 - イエス様の誕生を知り、心から祝福するための準備をする。
- 年中
- 七五三のお祝いを通じ、自分の成長を感じると共に、周りの人や神さまに感謝する。
 - 友だちと一緒にルールのある遊びを楽しむ。
- 年長
- 自分の考えを友だちに伝えながら、目的をもって遊びを深める。
 - 身近で働く人のことを知り、感謝の気持ちをもつ。



防犯訓練 11月1日(木)

園内にて不審者が侵入した場合を想定し、避難の方法や身の守り方を知ります。

堺警察の方にお越しいただき、お話を聞きながら学びます。

アルバム撮影(年長児のみ) 11月 2日(金) 11月 5日(月)

年長児が9:00より幼稚園駐車場、園庭、園舎内にてアルバム撮影を行います。

※安全に行うために9:00には幼稚園駐車場を閉門いたしますので、当日9:00以降に御用の方は学院駐車場をご利用ください。

図書貸し出し 11月 6日(火)

10月に借りた絵本を持たせてください。



年中組・満3歳児のみ参加

七五三のお祝い参観 11月14日(水)

10:00~10:45 学院チャペルにて

《ねらい》成長の喜びを神さまに感謝し、保護者と共に祈る。

《登園》9:45 園庭に集合

《服装》冬制服・短い紺ソックス

《持ち物》制帽・ハンカチ・ティッシュ (制かばん・出席カードは不要)

※保護者の方は9:45に園庭より学院チャペルに移動します。

車登録の方

ドライブスルーはありません。

保護者の方が不参加の場合は通常の登園方法で登園してください。

《入庫時間》 9:20~9:40

幼稚園駐車場 縦列駐車 → うめ・ゆり・ふたば組

年長組・年少組は今年は参加しません。
よって通常通りの水曜日の保育をいたします。
保護者の方の参加もありません。

聖マリア奉献祭 11月21日(火)

創立記念日ですが、保育日です。(午前保育)
子どもたちと一緒にマリア様にお祈りをします。

10月おつけものデーにご協力いただき、ありがとうございました。

皆様からお預かりいたしましたおつけものデーの献金はチャイルド・ファンド・ジャパンを通じて送金させていただきました。

10月5日(金) おつけものデー ￥27,450



お願いとお知らせ

① 白ぞうきんをご用意ください。

環境整備や衛生面維持のため使用します。お子様 1 人につき 1 枚をご用意ください。
大きさは市販サイズ（約 20×30 cm）のもので結構です。
11 月 12 日（月）までにご用意ください。
（ぞうきんは無記名で、ビニール袋に記名をして持たせてください。）

② デニール80 白タイツをご用意ください。

クリスマスページェントで着用します。（総練習・本番共に着用）
各ご家庭で準備をしてください。
制服販売の（株）ベストでも取り扱っております。
また、お子様が一人で着脱できるようご家庭で、練習をしてください。

③ 11 月 2 日（金） 降園方法が変更になります！

年少組（ばら・もも）年中組（うめ・ゆり）のみ対応してください。

当日は午前中より賢明学院中学高等学校の広いグラウンドで、中高生のお兄さん、お姉さんと遊んで交流を深めます。
降園時間を 14：00 とし、お迎え場所を中学高等学校正門前に変更します。

利用駐車場

年少組 → 学院駐車場 枠止め

年中組 → 幼稚園駐車場 枠止め

駐車後、中高正門までお迎えに来てください。

自転車の方 → 幼稚園正門に駐輪し、中高正門までお迎えに来てください。

※お迎え時は道路に広がらず、私語を謹んでお待ちください。

近隣住民の方へのご迷惑となります。車には十分に注意してください。

また、授業中ですのでお静かにお待ちください。

年長組・満 3 歳児クラスは通常通りの保育を行います。

降園方法、時間も通常通りです。

寄付金募集のお願い

2019年賢明学院は創立65周年を迎えます。

次期指導要領にみられるように、教育は常に時代に即した方向へと変化していきます。変化への対応力

と、変えてはならない賢明学院としての教育理念と教育方法を見極めつつ、賢明学院は教育の開拓者で

あり続ける努力をしています。

創立者の精神に倣うことを再認識し、100周年を迎える基礎固めとして第二期事業を計画すると

ともに第一期寄付金募集の延長を実施します。(名称は60周年期成会寄付金)

何卒、皆さま方のご厚意を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

寄付金募集及び募金方法

名 称 : 「60周年期成会寄付金」

募集期間 : 平成29年(2017年)9月1日～平成31年(2019年)8月31日

一 口 : 個人1万円 法人3万円 ※一口以上の寄付は、何口でも結構です

受 付 : 期成会事務局および各所属事務室(幼稚園・小学校・中学高校)に書類を用意しております

募金方法 : ①各所属事務局に申込書をご提出ください

②振込用紙に指定されている銀行にお振込ください ※手数料はご負担願います

③現金でも受付いたします ※申込用紙と一緒に中高事務局にお持ちください

※法人からの寄付も承っております(詳しくは期成会事務局までお問い合わせください)

寄付目標額60,000,000円です

創立100周年を迎えることができる学院として、本学に学ぶ子どもたちの明るく輝く未来に資するべく施設・学習環境の充実を図るとともに、時代の要請に応じた教育体制を整えてまいります。

今期の計画として下記、7項目を目標に掲げています。

- ◎ 新校舎建設基金積み立て
- ◎ 幼稚園・小学校・中学高等学校校舎の空調機器の入れ替え
- ◎ 水銀灯製造中止に伴う全館LED化
- ◎ 中学高等学校グラウンドの人工芝の張替え
- ◎ 幼稚園 園舎の外装・内装工事
- ◎ 幼稚園 園庭の整備
- ◎ 幼稚園 集会室整備

何卒、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。